

えひめ海ごみ調査プロジェクト

えひめ海ごみ調査プロジェクト実行委員会

＜瀬戸内オーシャンズXを起点に地域団体との連携を強化！瀬戸内海、宇和海それぞれの特徴に着目＞

瀬戸内オーシャンズXなどによる調査で、瀬戸内海側では河川を介した生活ゴミ、養殖業の盛んな宇和海ではフロートやブイなど漁業由来の海洋ゴミが多いことが判明。また、瀬戸内海の島々や宇和海のリアス式海岸など、複雑な地形であるがゆえに回収困難エリアへ海洋ゴミが堆積している課題がある。そこで、地元漁協や自治体と連携し海洋ゴミを効率的に回収→運搬→処理を行う実証実験を実施。また、若年層や海洋ごみ問題や清掃活動を行う機会を創出することを目的に、長浜高校発「のぼり旗プロジェクト」を横展開した県内高校生連携や「スポGOMI甲子園愛媛県大会」の活性化などを推進した。

2022年度 実施状況について

■取り組み名 【SOX】漁業系ゴミ減容モデル
＜課題・背景＞
フロートやブイなど容積の大きい漁業系ゴミの回収・運搬・処理



・概要：
・目的：容積の大きい漁業系ゴミの効率的な回収、減容、処理
・場所：宇和島市蔦淵エリア
・連携先：地元漁協、宇和島市、減容機メーカーなど
・効果：
ゴミの容積を約1/10以下に圧縮！！
漁協の意識改革→オーシャンズX基金に申請
行政の意識改革→宇和島市岡原市長が「海ごみ対策」に前のめりに。市でゴミ拾い団体への助成や海洋ごみ対策セミナーの開催など。

■取り組み名 【SOX】他エリア中学生との連携
＜課題・背景＞
SOX地域における各エリア特有の課題を学ぶ



・概要：岡山市内中学生が蔦淵エリアを訪問
地元の漁協、中学生と交流
シーカヤックで回収困難エリアに上陸
ごみの回収、各自カヤックで運び出し
・目的：SOX地域における各エリア特有の課題を学ぶ
・場所：宇和島市蔦淵エリア
・連携先：グリーンパートナー岡山、地元漁協、宇和島市立城南中学校
・効果：蔦淵における環境学習のモデル形成
次回岡山エリアでの交流学習の企画

■取り組み名 「のぼり旗プロジェクト」県内高校生連携
＜課題・背景＞
高校生間の交流、新たなムーブメント創出



・概要：「のぼり旗プロジェクト」高校生横展開、活動報告発表会（11/19開催）
・目的：高校生間の交流
新たなムーブメント創出
・場所：松山市ローブウェイ街など県内各地
・連携先：長浜高校、三崎高校、南宇和高校、松山東雲中学・高校
・効果：市街地におけるのぼり旗啓発の有効性を実証（他、結果集集中）

■取り組み名 スポGOMI甲子園in愛媛県大会
＜課題・背景＞
高校生間の交流、新たなムーブメント創出



・概要：スポGOMI甲子園in愛媛県大会
・目的：高校生間の交流
新たなムーブメント創出
・場所：松山市梅津寺海岸
・連携先：県内各高校22チーム、城東開発
・効果：参加チーム数昨年比157%に増加
地元企業からの参加（協賛）
全国優勝チームの2連覇
参加校、教員同士の交流、意見交換

その他：日本釣振興会愛媛県支部連携「釣り人クリーンアップ」プロジェクト等を実施

メディア露出



7/30 (土)「News every.サタデー」
瀬戸内オーシャンズX 展開 蔦淵



8/14 (日)「えひめ海ごみ調査プロジェクト」
瀬戸内オーシャンズX 展開 蔦淵



10/29 (土)「News every.サタデー」
宇和島市海洋ごみ対策セミナー



10/30 (日)「えひめ海ごみ調査プロジェクト」
八幡浜市海底清掃（漁協組合長参加）

その他：TV番組13本 テレビ告知CM200本 WEB10本、愛媛新聞、地元ケーブルテレビなど

2022年度の課題とこれからの展望

瀬戸内海、宇和海と特徴の異なる2つの海域ではそれぞれ抱えている問題が異なり、より戦略的に取り組む必要がある。2023年度においては、3ヶ年目を迎える瀬戸内オーシャンズXを起点に、宇和島市蔦淵エリアを始めとする「瀬戸内オーシャンズX基金」助成団体との連携を図る。また、県内各エリア、またSOXエリア間の中・高校生同士の交流に重きを置いて「瀬戸内ユースサミット」や「スポGOMI甲子園in瀬戸内海」などの新規事業を展開したい。